

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	マンガクリエイト科	夜・通信	1696 時間	160	
	コミックイラスト科	夜・通信	2245 時間	160	
	アニメーター科	夜・通信	2130 時間	160	
	キャラクターデザイン科	夜・通信	1876 時間	160	
	マンガ・イラスト・キャラクター科	夜・通信	5443 時間	240	
	3DCG アニメ・ゲーム科	夜・通信	2639 時間	240	
	デジタルイラスト科	夜・通信	810 時間	80	
	ゲームグラフィック科	夜・通信	2646 時間	240	
	研究科	夜・通信	4896 時間	80	
	トータルクリエイター科	夜・通信	14140 時間	320	
	大学併修科	夜・通信	14140 時間	320	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.web-jam.jp/disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 無
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://web-jam.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	政策的観点
非常勤	団体職員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	教育統括的観点
非常勤	弁護士	2023年6月 1日～2027 年5月31日	法的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。	
① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。	
②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映	
③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診	
④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う	
⑤ 3月：最終授業計画の決定。シラバスをホームページで公表	
⑥ 4月：新学期オリエンテーションにて学生に告知	
授業計画書の公表方法	ホームページ： <a href="http://www.web-jam.jp/disclosure/">http://www.web-jam.jp/disclosure/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。

- ①学科毎に、学期末毎に、課題・試験等による学期末考査を行う（年2回）
- ②学期末考査を受ける者は、各科目毎に出席率80%以上である必要がある
- ③成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)で、D評価を不可とする
- ④内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。  
ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。
- ⑤学修成果の評価は成績表としてまとめ、保護者宛に郵送する
- ⑥上記に加え、年度末に行われる「卒業・進級判定会議」において、修了課題・卒業課題の評価と共に、最終的な卒業・進級認定判断を行う。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・評価方法、成績評価基準

評価点 A (80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下・不可)

①試験・課題評価 (80%)

作品クオリティ、納期管理、プレゼンテーション等、総合的に評価

②授業姿勢 (20%)

遅刻欠席、積極的な授業への参加(発言等)等、総合的に評価

※上記①②の評価ウエイトは科目・課題によって変動する場合がある。

※授業科目出席率80%に満たないものは評価対象としない。(評価点Dとする)

・評価方法、成績評価基準の公表

新学期オリエンテーション、及び各科目1回目の授業にて、学生必携・シラバスを用いて学生に告知。

評価方法、成績評価基準が記載されているシラバスを自校ホームページにて公表

・成績分布状況の把握

履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。

その平均点(GPA)により、成績の分布状況を把握する。

成績評価の数値化は、以下の通りとする

A:5、B:4、C:3、D:2(不可)

※評価点D(不可)の場合は、規定に従い追試・追課題を実施し、単位修得を認める。

GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ： <a href="http://www.web-jam.jp/disclosure/">http://www.web-jam.jp/disclosure/</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針 下記、卒業認定の基準を満たし、且つ専門分野において、即戦力となる専門知識・技術を習得し、社会人・職業人として業界・地域社会に貢献できる人材であると認められたものに対し卒業を認定する。</li> <li>・卒業認定の基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）であること</li> <li>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</li> <li>③卒業制作：評価 C 以上を取得していること</li> <li>④授業料その他納付金に未納がないこと</li> <li>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</li> </ul> </li> </ul> <p>※上記、基本方針、卒業認定の基準に則り、教育課程編成委員にて卒業・進級判定会議を実施し、卒業認定の可否について審議・決定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期 1月下旬（進級制作、卒業制作提出後に実施）</li> </ul>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ： <a href="http://www.web-jam.jp/disclosure/">http://www.web-jam.jp/disclosure/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://web-jam.jp/disclosure/">https://web-jam.jp/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://web-jam.jp/disclosure/">https://web-jam.jp/disclosure/</a>
財産目録	<a href="https://web-jam.jp/disclosure/">https://web-jam.jp/disclosure/</a>
事業報告書	<a href="https://web-jam.jp/disclosure/">https://web-jam.jp/disclosure/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://web-jam.jp/disclosure/">https://web-jam.jp/disclosure/</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	マンガクリエイト科	○	/		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1886 単位時間	436 単位時間	510 単位時間	940 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1886 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		39人	3人	2人	6人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、</p>



単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。
学修支援等
(概要) ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	2人 (15%)	11人 (85%)
(主な就職、業界等) ・連載マンガ家、Webマンガ家、マンガ家アシスタント、製造職			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：なし 検定：			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	コミックイラスト科	○	/		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1715 単位時間	412 単位時間	510 単位時間	1513 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2435 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		45人	1人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>	

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導</li> <li>・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携</li> <li>・スクールカウンセリング制度</li> <li>・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	10人 (41.7%)	14人 (58.3%)
(主な就職、業界等) フリーイラストレーター、デザイン・マンガ・ゲーム系制作、製造業、接客業			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家資格：なし 検定：色彩士検定、ビジ初著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定			
(備考) (任意記載事項) 産官学連携事業により、在学中にマンガ・イラスト等の仕事案件を受注し実務訓練を実施。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	4人	7.84%
(中途退学の主な理由) 希望進路の変更や精神疾患罹患に伴う進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	アニメーター科	○	/		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1774 単位時間	109 単位時間	882 単位時間	1233 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2224 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		62人	2人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要）						
授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。						
① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。						
②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映						
③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診						
④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う						
⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定						
成績評価の基準・方法						
①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。						
②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可						
③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。						
④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する						
⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める						
⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする						
卒業・進級の認定基準						
（概要）						
年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。						
①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること						
②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること						
③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること						
④授業料その他納付金に未納がないこと						
⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。						

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導</li> <li>・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携</li> <li>・スクールカウンセリング制度</li> <li>・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	27人 (93%)	2人 (7%)
(主な就職、業界等) アニメーター、仕上げ、編集			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、個別相談 校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、スーツ研修など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：なし 検定：ビジネス著作権 BASIC、コミュニケーション検定、日本語コミュニケーション検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59人	2人	3.39%
(中途退学の主な理由) 病気・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・学生との交流・保護者との情報共有、担任、副担任・教務部長による個別相談、非常勤講師との情報共有、産業カウンセラーによるスクールカウンセリング制度の活用など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	キャラクターデザイン科	○	/		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1844 単位時間	253 単位時間	490 単位時間	1221 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1964 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		79人	5人	3人	9人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>① 出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>② 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③ 内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④ さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤ 成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥ GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>① 出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>② 単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③ 卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④ 授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤ 内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p>	

ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000 円を請求する。
学修支援等
(概要) ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	6人 (14%)	23人 (53%)	14人 (32%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、アニメ業界、印刷・広告業界など			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：なし 検定：ビジネス著作権検定 BASIC コミュニケーション検定初級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	1人	1.11%
(中途退学の主な理由) 精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	マンガ・イラスト・キャラクター科	○	/		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2628 単位時間	1126 単位時間	1750 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			5648 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	62人	1人	3人	27人	30人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>
成績評価の基準・方法
<p>① 出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>② 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③ 内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④ さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤ 成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥ GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>① 出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>② 単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③ 卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④ 授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤ 内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p>



ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000 円を請求する。
学修支援等
(概要) ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	2人 (12%)	5人 (31%)	9人 (56%)
(主な就職、業界等) マンガ業界・製造			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家資格：なし 検定：ビジネス著作権検定、色彩士検定、コミュニケーション検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	2人	3.45%
(中途退学の主な理由) 精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	3DCG アニメ・ゲーム 科	○	/			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2737 単位時間	349 単位時間	438 単位時間	2070 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2857 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	49人	2人	2人	7人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>
成績評価の基準・方法
<p>①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p>

ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000 円を請求する。
学修支援等
(概要) ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	3人 (37.5%)	5人 (62.5%)
(主な就職、業界等) CG業界 飲食			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家資格：なし 検定：			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	1人	2.04%
(中途退学の主な理由) 精神的な理由により退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	デジタルイラスト科	/	/		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	822 単位時間	54 単位時間	308 単位時間	460 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			822 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		7人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要）						
授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。						
① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。						
②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映						
③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診						
④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う						
⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定						
成績評価の基準・方法						
①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。						
②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可						
③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。						
④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する						
⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める						
⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする						
卒業・進級の認定基準						
（概要）						
年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。						
①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること						
②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること						
③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること						
④授業料その他納付金に未納がないこと						
⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。						

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導</li> <li>・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携</li> <li>・スクールカウンセリング制度</li> <li>・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 ( 0 %)	0人 ( 0%)	7人 ( 100 %)
(主な就職、業界等) フリーランスイラストレーター・アルバイト			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 国家資格：なし 検定：ビジネス著作権検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	ゲームグラフィック 科	○	/			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2792 単位時間	305 単位時間	402 単位時間	2145 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2852 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	19人	1人	1人	11人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>
成績評価の基準・方法
<p>① 出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>② 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③ 内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④ さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤ 成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥ GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>① 出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>② 単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③ 卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④ 授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤ 内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p>

ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000 円を請求する。

学修支援等

(概要)  
・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導  
・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携  
・スクールカウンセリング制度  
・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	研究科	/	/		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	876 単位時間	420 単位時間	720 単位時間	3756 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4896 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		6人	0人	1人	43人	44人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>	



学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導</li> <li>・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携</li> <li>・スクールカウンセリング制度</li> <li>・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	6人 (40%)	9人 (60%)
(主な就職、業界等) ゲーム制作業、映像制作業など			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：なし 検定：			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	トータルクリエイター科	/	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間	2034 単位時間	3671 単位時間	9352 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			15057 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		13人	1人	1人	43人	44人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要）						
授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。						
① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。						
② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映						
③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診						
④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う						
⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定						
成績評価の基準・方法						
①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。						
②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可						
③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。						
④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する						
⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める						
⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする						
卒業・進級の認定基準						
（概要）						
年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。						
進級・卒業認定の基準は、以下の通り。						
①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること						
②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること						
③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること						
④授業料その他納付金に未納がないこと						
⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。						
ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。						

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導</li> <li>・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携</li> <li>・スクールカウンセリング制度</li> <li>・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	1人 (25%)	3人 (75%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：なし 検定：			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	大学併修科	/	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間	2034 単位時間	3671 単位時間	9352 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			15057 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		3人	0人	1人	43人	44人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>	

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導</li> <li>・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携</li> <li>・スクールカウンセリング制度</li> <li>・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
アニメーター科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	
3DCG アニメ ゲーム科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	
キャラクターデザ イン科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	
ゲームグラフィ ック科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	3 年次その他費用 (180,000 円)
コミックイラスト 科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	
マンガクリエイ ト科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	
マンガイラストキ ャクター科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	3 年次その他費用 (180,000 円)
トータルクリエイ ター科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	3 年次・4 年次その他費用 (180,000 円)
大学併修 科	90,000 円	760,000 円	400,000 円	3 年次・4 年次その他費用 (180,000 円)
デジタルイラスト 科	90,000 円	760,000 円	140,000 円	
研究科	—	380,000 円	320,000 円	(内部進学者学費)
トータル クリエイ ター科	—	380,000 円	320,000 円	(内部進学者学費)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.web-jam/">https://www.web-jam/</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 専門学校教育の質の向上を図り、学校運営の健全性、透明性、信頼性を高めるため、専門分野企業、業界団体から参画した委員の意見を元に、学生、学校教職員、学生保護者にて情報共有、および、審議を実施。学校情報の公開に取り組み、専門学校に対する社会的、業界的な信頼を高めることを目指す。 ・評価項目 ① 教育理念、目標 ② 学校運営 ③ 教育活動 ④ 学修成果

<p>⑤ 学生支援          ⑥ 教育環境          ⑦ 学生の受け入れ、募集          ⑧ 財務          ⑨ 法令などの遵守          ⑩ 社会的貢献、地域貢献</p> <p>・評価の実施方法          教育課程編成委員会を中心に前述の評価項目について審議、自己評価の行い作成した学校自己評価報告書をもとに学校関係者委員にて報告書の内容について審議を実施。</p> <p>・評価結果の活用          学校関係者委員にて審議した結果を教育課程編成委員会にて共有、審議を行い、内容を則時学校運営、学科運営などを反映させる。          昨年度の評価結果の活用状況については、学校関係者委員にて自己評価は概ね妥当であるとの評価をいただき、継続して教育の質の向上に努めております。ただし、例年課題としてあがる、精神的な問題を抱える学生指導については、教職員のスキル向上が必要不可欠であり、積極的な外部研修への参加が求められるため、教職員の年間 2 回以上研修参加と定期的な内部研修を実施している。</p> <p>・実施時期          3 月下旬にて本校舎にて実施。非常勤講師会、および教育課程編成委員会第一階会議と併催する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 muku.	任期は特に設けず。	企業など委員
株式会社ガタケット	任期は特に設けず。	企業など委員
株式会社新潟アニメーション	任期は特に設けず。	企業など委員
一般社団法人日本学芸振興会	任期は特に設けず	業界団体など委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.web-jam.jp/">https://www.web-jam.jp/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)